下関

まだまだ知らない!見たことのない!!とっておきの下関!!!

インスタ映え観光スポット好調

2018年と2019年はふぐ解禁130年と平成最後の竜王戦開催第7戦で注目を集めた下関。角島は国内でも非常に知名度の高い観光地に上り詰めた。長門市にある元乃隅神社とセットで巡るルートはゴールデンルートになっている。そんな下関市内にはまだまだ全国的に知られていない観光スポットがある。鉄道関連ではJR西日本の「WEST EXPRESS銀河」の山陽コースの出発と到着駅にも決まった。観光列車「○○のはなし」や「TWILIGHT EXPRESS瑞風」も走る下関には鉄道商品にも注目だ。

まだまだ知らない!見たことのない!!とっておきの下関!!!

しものせき観光キャンペーン実行委員会は2001年3月に下関市や下関観光コンベンション協会等の官民の関係機関で組織（25団体）し、2020年で20年を経過。2020年のキャンペーンテーマを「まだまだ知らない!見たことのない!!とっておきの下関!!!」とした。

具体的には開通20年になる角島大橋をメインにその周辺のとっておき情報や長門市の元乃隅神社に負けない絶景を誇る福徳稲荷、神秘的な景観で新たな注目スポットとしての一の俣桜公園などまだまだよく知られていない選りすぐりの情報を紹介。加えて室町時代創建当時の面影を残した国宝、本殿が再建から650年となるのを記念した事業を開催する「長門一宮 住吉神社」などを全国に情報発信していく。

食に関しては河豚、雲丹、鯨、鮟鱇、鳥賊など下関の高級食材や名産品を使用した究極のオリジナルフルコース料理「下関満関善席」をより多くの人に体験してもらうことを目的に「下関満関善席」を設定した。

長門一宮　住吉神社の空撮

長門一宮　住吉神社

日本三大住吉の1つ。本殿が国宝であり社寺観光スポットとしてもレベルが高い。珍しい厄割石に厄割玉を投げる厄払いがある。他にもパワースポットとして大楠がある。近年はテレビ番組でドローンによる空撮映像が美しいと注目を集めた。

今年は室町時代創建当時の面影を残した国宝の本殿が2020年に再建から650年となるのを記念して本殿（国宝）再建650年記念事業が実施される。本殿や九間社流造りの檜皮葺き屋根を見学できるほか、復元された板戸絵も境内で展示される（説明付き、有料）。期間は2020年6月予定。下関市美術館では関連の企画展も開催される。時間は9時から16時。住吉神社の住所は下関大字吉母1丁目11—1。

本州最西端の地　毘沙ノ鼻（びしゃのはな）

本州最西端の地　毘沙ノ鼻（びしゃのはな）

北緯34度6分38秒、東経130度51分37秒。日本海の荒波にさらされた、まさに本州最西端の地。展望広場が整備され、気軽に立ち寄ることができるようになった。海抜120m、水平線に沈んでゆく太陽、日本海の夕暮れはとてもロマンチック。県外からのドライブ客やライダーも多い。

住所は下関大字吉母（よしも）字御崎。

第31期竜王戦下関対局開催記念手形銘板

本州最西端到達証明書を発行

証明書の発行を希望する人は、下関駅、新下関駅観光案内所で購入できる。非常によく売れているヒット企画。郵送希望の場合、送付先住所、氏名、到達日を記入し切手220円（1部100円＋郵送料120円）を同封し、下記事務局まで。部数によって郵送料は異なる。事前の渡しも可能。申込先は山口県下関市豊前田町3丁目3—1（海峡メッセ下関6F）下関観光コンベンション協会宛て。TEL083・223・1144。

本州四端踏破ラリーも実施中

本州の東西南北、最端の地の踏破に挑戦。本州の四端（東・岩手県宮古市、西・山口県下関市、南・和歌山県串本町、北・青森県大間町）に位置する市町で構成する本州四端協議会が、地域活性化のために協力して実施している取り組み。訪問証明書や写真を事務局（下関市役所企画課）に送付すればオリジナル記念品がもらえる。本州四端協議会マスコットキャラクター「よんたん」も写り、風光明媚な光景を目にすることができる。参詣も忘れずに。

鳴瀬道生宮司

福徳稲荷神社

本殿を背に海を眺めると、朱色の大鳥居越しに眼下に広がるのは響灘の碧い海、青い空、流れる白い雲、水面に煌めく太陽、そして世界的ピアニストアルフレッド・コルトー（コルトー）」をはじめ遠くに浮かぶ緑の島々。陽の光により創り出される多彩な絶景が見る人を魅了する。

響灘沖合の水平線に沈む夕日は感動的。とくに秋の晴れた日の夕方は大鳥居に向かって伸びた夕日の光が海面にくっきり目にすることができる。

福徳稲荷神社からの海の景色

願いが叶う千本鳥居

実際に千本以上ある千本鳥居。「開運鳥居」とも呼ばれ、周囲の木々の緑と鳥居の朱色が溶け合い、その荘厳な美しさで外国人観光客やインスタ映えすると女子旅にも人気。

千本鳥居の先にある絶景

続く鳥居をくぐると、目の前に広がる海と空。時間が合えば、すぐそばの海岸線に沿ってのんびり走る観光列車「○○のはなし」や豪華列車「瑞風」を眺めることもできる知る人ぞ知る観光スポットだ。

また「犬鳴のお稲荷さん」とも呼ばれ、開運、商売繁盛、家内安全、航海安全、学業成就、交通安全、豊漁祈願とご利益も多彩。

下関ICから約45分。JR山陰本線湯玉駅から車で5分。ブルーライン交通バス福徳稲荷前バス停下車。大型バス用駐車場あり。TEL083・776・0125。住所は下関市豊浦町宇賀2960—1。境内参拝自由。御朱印受付は9時30分から16時（初穂料300円）。

千本鳥居

一の俣桜公園

第31期竜王戦下関対局開催記念手形銘板

2018年の12月20日21日に、将棋の最高位棋戦である竜王戦（第31期）七番勝負の最終第7局が下関市の春帆楼で開催された。対局の前日に羽生善治竜王（当時）と広瀬章人八段（当時）が決闘の聖地である「巌流島」に上陸。

二人の巌流島上陸を記念して、二人の手形及び揮毫をブロンズ製の銘板にし、巌流島の展望台広場（武蔵・小次郎銅像前）に設置。2019年3月30日には除幕式も開催された。多くの観光客が手形に自分の手を当てる姿が見られる。

インスタ映えスポット一の俣桜公園

下関豊田町一ノ俣にありインスタ映えスポットとして人気。神秘的な景観を楽しむことができるテレビにも取り上げられた話題のスポット。絵画のような神秘的な風景が見られる。優雅に泳ぐ鯉や水面から顔を出した珍しい景色が見られる。寒い時期の早朝は霧がかかることもあり、さらに神秘的。

渇水時など時期によっては砂漠の惑星のような景色になることもあり、珍しさの反面水没林の景色が見られないこともあるので注意が必要。

小月ICから約40分。一ノ俣温泉観光ホテルから車で約6分。大型バスも利用可。豊田町観光協会TEL083・766・0031。

近くには下関市内の温泉地である一の俣温泉もある。住所は下関市豊田町一ノ俣。

貸切風呂棟「薫 the fu-ro」

下関の誇るオリジナルフルコース料理「下関満関善席」に「満関善席」登場

ミニ「満関善席」（寿美礼）

接待・記念旅行に最適として人気を集めている下関の旬の食材、名産品を使った絢爛豪華な下関オリジナルフルコース料理「満関善席」。ついに比較的気軽な料金で楽しめるミニ「満関善席」が登場した。

期間は通年。接待や記念旅行での利用が多い。季節に応じて食材が異なるため詳細については各店舗に問い合わせが必要。

作曲家　和田薫氏の生家の旅館

下関駅徒歩エリアにある老舗割烹旅館の寿美礼では、およそ8千円を目安にミニ「満関善席」を提供している。オリジナルフルコース料理「満関善席」を提供する店舗の中でもクオリティの高さに定評がある。昼食プランや会食プランの設定もある。作曲家の和田薫氏の生家の旅館であり、食事スペースのレストラン&ギャラリー「薫 the room」も設置。新たに貸切風呂棟「薫 the fu—ro」もオープンした。和田薫氏は日本アカデミー賞の音楽賞を受賞。人気アニメやゲーム音楽も数多く手がけており、クールジャパンの関連のスポットして、外国人観光客にも人気。

貸切風呂棟「薫 the fu—ro」

一般の家族風呂として利用されているほか、外国人旅行者の急増で多様化するニーズに応える意味でも、タトゥーを入れている外国人観光客にも日本の入浴文化を楽しめるようにした。各部屋ごとにテーマ、作りを変えた。介助があれば足が不自由な人が利用できるタイプや落ち着いた雰囲気で入浴できるタイプ、子供連れでも安心して入浴できるようベビーベッドを準備し、浴室内も畳敷きにしたタイプがある。

利用料金は1時間2500円。

決闘の聖地　巌流島

関門海峡に浮かぶ巌流島の正式名称は「船島」。下関市の彦島江の浦東岸250mにあり、北端に小山があるほかは平らな島で、現在は無人島で公園として整備されている。

しものせき観光キャンペーン実行委員会
下関市観光政策課
山口県下関市南部町1—1
TEL：083—231—1350
http://shimonoseki.travel

一般社団法人 下関観光コンベンション協会
山口県下関市豊前田町3丁目3—1 海峡メッセ下関
TEL：083—223—1144
https://www.stca-kanko.or.jp